

# 奈良県の農林水産業の概要

## 特徴・取組

奈良県は近畿地方のほぼ中央に位置し、海岸に接しない内陸県で、北部大和平野と南部山地とに大別できる。  
気候は概ね温暖で、北部の大和平野では内陸性気候、北東部の大和高原では内陸性気候と山岳性気候の特徴を有し、気温の日較差が大きい。

京都や大阪・神戸への交通の便もよく、大都市のベッドタウンとしての特色を有し、都市近郊農業が営まれている。  
主な産業は観光業であり、近年、外国人観光客の増加に伴い、宿泊施設の拡充など、現在、県を挙げて集客に取り組んでいる。

農業は、京阪神の大消費地に近いという立地条件を活かして、北部の大和平野では米を中心に野菜や花き、北東部の大和高原では茶、畜産、高原野菜、北西部の丘陵地帯では、きく、南部の五條・吉野地域では、かきやうめなどの果樹栽培が盛んである。  
林業は、県中央東寄りに「吉野林業地域」と呼ばれる全国屈指の高級材の産地があり、主にすぎ、ひのきの木材生産が行われている。  
漁業は、県南東部であゆ、あまごなどの内水面漁業、県北西部では観賞用の金魚の養殖業が盛んである。

県独自の取組として、県内の農地を有効活用・生産性の向上を図るため、2市3町(五條市、宇陀市、田原本町、広陵町、川西町)7地区を「特定農業振興ゾーン」としてエリア設定し、生産振興・産地形成を図っている。  
また、県産品の振興面では、県産食材の需要拡大を図り、将来の成長品目として育成を図るチャレンジ品目(大和野菜、切り枝、有機野菜等)の生産拡大と、今後の奈良県農業を牽引するリーディング品目(かき、きく、茶、いちご、大和畜産ブランド(大和牛、大和肉鶏、ヤマトポーク等))の産地競争力強化を進めている。

## 主な農林水産物

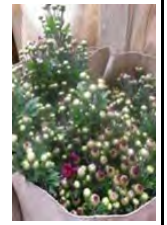
### かき

全国有数の産地。  
「奈良の柿」として全国・首都圏に出荷。  
(収穫量全国2位)



### きく(切り花)

小ぎく・二輪ぎくの産地を形成。  
関西市場で高い占有率を確保。  
(きく:出荷量全国6位)



### いちご

アスカルビー、古都華、珠姫等の品種を開発・育成。



### 茶

「大和茶」のブランドで産地を形成。



### 畜産物

大和牛、ヤマトポーク、大和肉鶏、大和なでしこ卵、大和の雫(蜂蜜)としてブランド化。



### 大和野菜

大和まなや千筋みずな等を大和野菜に県が認定し、生産拡大を推進。



### すぎ・ひのき

木目が美しく、建築用材として高い評価。  
吉野杉は全国的に有名。



### 切り枝・切り葉

サクラ・コウヤマキなど1年を通じて多様な品目を出荷(切り枝:出荷量全国第6位)



### 金魚

「奈良県のさかな」に指定。  
(平成24年6月指定)

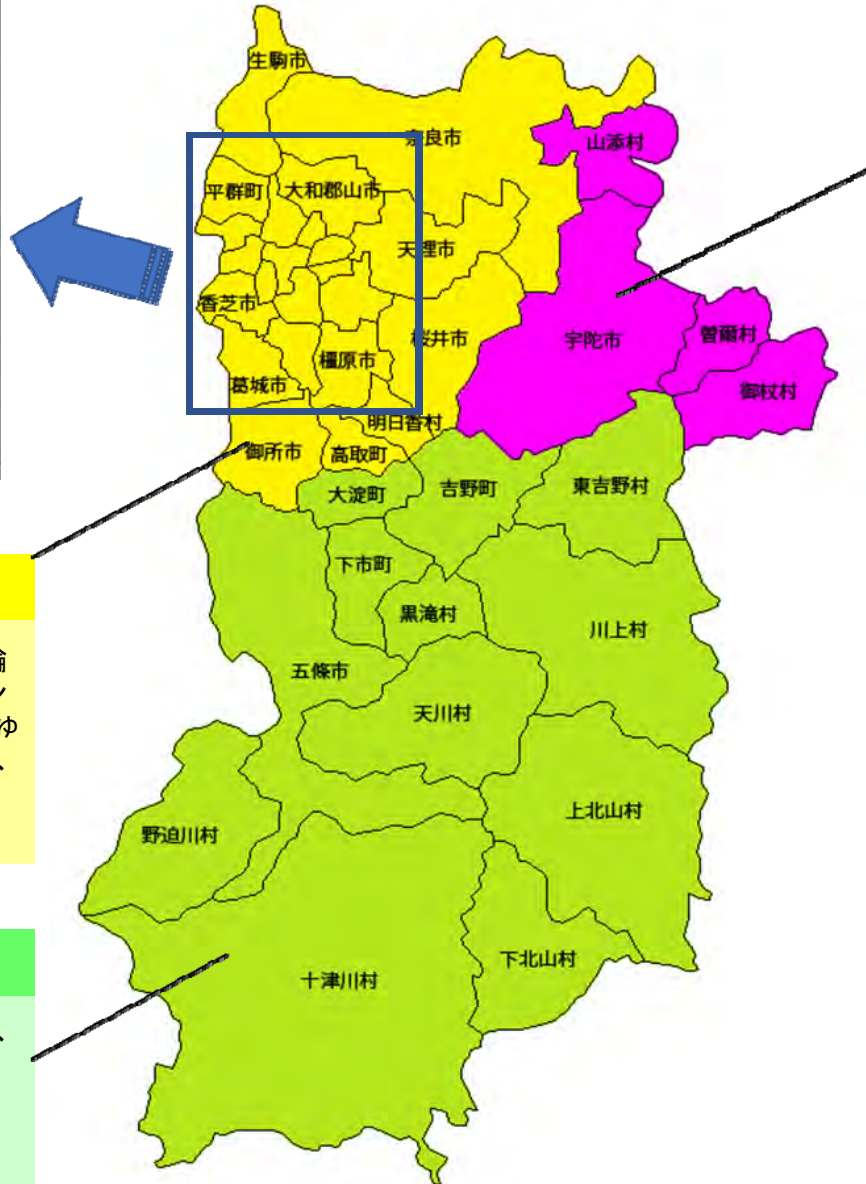


### 薬用作物

「漢方のメッカ推進プロジェクト」で大和トウキなどを振興。



# 奈良県内の各地域における農林水産物



## 大和高原地域

【農畜産物】ほうれんそう、しゅんぎく、みずな、茶、水稻、花き（ダリア）、肉用牛、生乳  
 【林産物】すぎ、ひのき

## 大和平野地域

【農畜産物】花き〔切り花類（小ぎく、輪ぎく、ばら）、花壇用苗物類、シクラメン（鉢もの類）〕、いちご、イチジク、しゅんぎく、こまつな、ねぎ、なす、トマト、かき、茶、水稻、生乳  
 【水産物】金魚、錦鯉（観賞用）

## 五條・吉野地域

【農畜産物】かき、うめ、なす、トマト、きゅうり、ねぎ、水稻、薬用作物（トウキ、シャクヤク）、切り枝（切り花類）、生乳、養鶏、養豚  
 【林産物】スギ、ヒノキ

## 県全域

【農産物】大和野菜：25品目（大和まな、干筋（せんすじ）みずな、宇陀金（うだきん）ごぼう、大和いも、結崎ネブカ（ゆうざきねぶか）（ねぎ）、黄金まくわ（ウリ）、大和丸なす、下北春まな（漬け菜）、大和寒熟ほうれん草、ひもとうがらし、軟白ずいき、祝だいこん、小しょうが、花みょうが、大和きくな、紫とうがらし、片平あかね（蕪）、筒井れんこん、大和三尺きゅうり、味間いも（あじまいも）、黒滝白きゅうり（くろたきしろきゅうり）、大和ふとねぎ、香りごぼう、半白きゅうり、朝採り野菜）  
 【水産物】あゆ、あまご

# 奈良県の農業（1）

- ・耕地面積は1万9,800haで全国第44位。内訳は、田が1万4,000ha、畑は5,830ha。
- ・総農家数は2万1,950戸で全国第38位。内訳は、販売農家が1万616戸。
- ・認定農業者数は1,003経営体で全国第46位。うち法人は86法人。

## 耕地面積

| 区分        | 奈良県        | 全国            | 全国順位 |
|-----------|------------|---------------|------|
| 耕地面積      | 19,800 ha  | 4,349,000 ha  | 44   |
| 田         | 14,000 ha  | 2,366,000 ha  | 41   |
| 畑         | 5,830 ha   | 1,983,000 ha  | 42   |
| 普通畑       | 2,430 ha   | 1,126,000 ha  | 43   |
| 樹園地       | 3,360 ha   | 263,200 ha    | 24   |
| 牧草地       | 37 ha      | 593,400 ha    | 42   |
| 参考) 総土地面積 | 369,094 ha | 37,797,463 ha | 40   |

出典：「令和3年耕地面積(7月15日現在)」、「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省国土地理院)

## 荒廃農地面積

| 区分     | 奈良県      | 全国         | 全国順位 |
|--------|----------|------------|------|
| 荒廃農地面積 | 1,461 ha | 281,831 ha | 42   |

出典：「令和2年の都道府県別の荒廃農地面積」

## 担い手への農地の集積状況

| 区分        | 奈良県      | 全国           | 全国順位 |
|-----------|----------|--------------|------|
| 担い手への集積面積 | 3,699 ha | 2,535,115 ha | 45   |
| 集積率       | 18.5 %   | 58.0 %       | 46   |

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和2年度版)」

注：農地中間管理機構を介さないものを含む。  
令和3年3月末の数値である。

## 農業経営体数、農家数及び集落営農数

| 区分       | 奈良県        | 全国            | 全国順位 |
|----------|------------|---------------|------|
| 農業経営体数   | 10,858 経営体 | 1,075,705 経営体 | 43   |
| 法人経営体    | 147 経営体    | 30,707 経営体    | 45   |
| 総農家数     | 21,950 戸   | 1,747,079 戸   | 38   |
| 販売農家     | 10,616 戸   | 1,027,892 戸   | 42   |
| 参考) 世帯総数 | 544,981 世帯 | 55,830,154 世帯 | 30   |
| 集落営農数    | 38 集落営農    | 14,490 集落営農   | 39   |

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和3年2月1日現在)」

## 基幹的農業従事者数及び認定農業者数

| 区分                   | 奈良県         | 全国            | 全国順位 |
|----------------------|-------------|---------------|------|
| 基幹的農業従事者数            | 10,628 人    | 1,363,038 人   | 42   |
| 男                    | 7,345 人     | 822,144 人     | 42   |
| 女                    | 3,283 人     | 540,894 人     | 43   |
| 65歳以上                | 8,126 人     | 948,621 人     | 41   |
| 基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合 | 76.5 %      | 69.6 %        | -    |
| 認定農業者数               | 1,003 経営体   | 233,806 経営体   | 46   |
| 法人数                  | 86 法人       | 26,080 法人     | 44   |
| 参考) 総人口数             | 1,324,473 人 | 126,146,099 人 | 29   |

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和2年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用



# 奈良県の農業（2）

- ・農業産出額は395億円で全国第45位。内訳は、米が95億円、野菜が113億円、果実が75億円。
- ・農畜産物の生産状況は、かきが全国第2位、パンジー（花壇用苗もの類）が4位、切り枝（切り花類）が6位。
- ・農業者等による生産関連事業は、農産物直売所の年間販売金額が110億9百万円で全国第43位。

## 農業産出額

| 区分     | 奈良県    | 全国        | 全国順位 |
|--------|--------|-----------|------|
| 農業産出額  | 395 億円 | 89,557 億円 | 45   |
| 米      | 95 億円  | 16,551 億円 | 41   |
| 麦類     | 0 億円   | 521 億円    | 31 * |
| 雑穀     | 0 億円   | 77 億円     | 39   |
| 豆類     | 1 億円   | 712 億円    | 37   |
| いも類    | 4 億円   | 2,391 億円  | 45   |
| 野菜     | 113 億円 | 22,520 億円 | 42   |
| 果実     | 75 億円  | 8,741 億円  | 27   |
| 花き     | 36 億円  | 3,080 億円  | 26   |
| 工芸農作物  | 5 億円   | 1,553 億円  | 26   |
| その他作物  | 6 億円   | 697 億円    | 25 * |
| 畜産     | 55 億円  | 32,279 億円 | 43   |
| 肉用牛    | 11 億円  | 6,863 億円  | 43   |
| 乳用牛    | 32 億円  | 9,310 億円  | 35   |
| 生乳     | 29 億円  | 7,798 億円  | 35   |
| 豚      | 3 億円   | 6,596 億円  | 43   |
| 鶏      | 9 億円   | 8,724 億円  | 45   |
| 鶏卵     | 9 億円   | 4,577 億円  | 44   |
| ブロイラー  | x 億円   | 3,621 億円  | - *  |
| その他畜産物 | 0 億円   | 787 億円    | 42   |
| 加工農産物  | 4 億円   | 436 億円    | 14   |

出典：「令和2年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

## 農畜産物の生産状況

| 区分            | 年次  | 奈良県       | 全国           | 全国順位 |
|---------------|-----|-----------|--------------|------|
| かき            | 収穫量 | 27,700 t  | 193,200 t    | 2    |
| パンジー（花壇用苗もの類） | 出荷量 | 6,240 千本  | 113,400 千本   | 4    |
| 切り枝（切り花類）     | 出荷量 | 7,020 千本  | 206,100 千本   | 6    |
| きく（切り花類）      | 出荷量 | 46,800 千本 | 1,300,000 千本 | 6    |
| なす            | 収穫量 | 4,930 t   | 297,000 t    | 16   |
| いちご           | 収穫量 | 2,290 t   | 159,200 t    | 17   |
| ほうれんそう        | 収穫量 | 3,570 t   | 213,900 t    | 17   |
| 小麦            | 収穫量 | 333 t     | 1,078,000 t  | 28   |
| 大豆            | 収穫量 | 132 t     | 218,900 t    | 39   |
| 水稻            | 収穫量 | 43,200 t  | 7,563,000 t  | 41   |

出典：「作物統計」、「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」

## 農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

| 区分     | 奈良県    | 全国         | 全国順位          |    |
|--------|--------|------------|---------------|----|
| 農産物直売所 | 総額     | 11,009 百万円 | 1,053,366 百万円 | 43 |
|        | 事業体数   | 240 事業体    | 23,650 事業体    | 36 |
| 農産加工   | 総額     | 3,843 百万円  | 946,841 百万円   | 45 |
|        | 事業体数   | 260 事業体    | 32,400 事業体    | 43 |
| 観光農園   | 総額     | 367 百万円    | 35,943 百万円    | 29 |
|        | 農業経営体数 | 40 農業経営体   | 5,290 農業経営体   | 35 |

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 奈良県の林業

- ・ 林業産出額23億円で全国第38位。内訳は、木材生産が14.7億円で、栽培きのこ類生産が6.1億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が10万7,000m<sup>3</sup>で、全国第36位。内訳は、すぎが6万9,000m<sup>3</sup>、ひのきが3万8,000m<sup>3</sup>。
- ・ 製材工場数は143工場で全国第6位。内訳は、国産材のみが132工場で、国産材と輸入材が2工場。

## 林野面積

| 区分    | 奈良県        | 全国            | 全国順位 |
|-------|------------|---------------|------|
| 林野面積  | 283,705 ha | 24,770,201 ha | 31   |
| 国有林   | 12,631 ha  | 7,153,338 ha  | 37   |
| 民有林   | 271,074 ha | 17,616,863 ha | 28   |
| 人工林面積 | 172,203 ha | 10,203,842 ha | 26   |

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「森林資源の現況(平成29年3月31日現在)」

## 林業経営体数

| 区分     | 奈良県     | 全国         | 全国順位 |
|--------|---------|------------|------|
| 林業経営体数 | 652 経営体 | 34,001 経営体 | 20   |
| 法人経営体  | 59 経営体  | 4,093 経営体  | 28   |

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

## 林業産出額

| 区分       | 奈良県     | 全国         | 全国順位 |
|----------|---------|------------|------|
| 林業産出額    | 23.0 億円 | 4,286.4 億円 | 38   |
| 木材生産     | 14.7 億円 | 1,943.7 億円 | 30   |
| 栽培きのこ類生産 | 6.1 億円  | 2,259.6 億円 | 39   |

出典：「令和2年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

## 林産物の生産状況

| 区分     | 奈良県                 | 全国                     | 全国順位 |
|--------|---------------------|------------------------|------|
| 素材生産量  | 107 千m <sup>3</sup> | 19,882 千m <sup>3</sup> | 36   |
| 針葉樹    | 107 千m <sup>3</sup> | 18,037 千m <sup>3</sup> | 35   |
| すぎ     | 69 千m <sup>3</sup>  | 11,663 千m <sup>3</sup> | 35   |
| ひのき    | 38 千m <sup>3</sup>  | 2,722 千m <sup>3</sup>  | 23   |
| 広葉樹    | 0 千m <sup>3</sup>   | 1,845 千m <sup>3</sup>  | 44   |
| 生しいたけ  | 生産量 390.8 t         | 70,279.6 t             | 33   |
| 乾しいたけ  | 生産量 4.2 t           | 2,302.1 t              | 35   |
| ぶなしめじ  | 生産量 238.3 t         | 122,802.2 t            | 12 * |
| 木質粒状燃料 | 生産量 2,932.0 t       | 148,725.8 t            | 12 * |

出典：「令和2年木材需給報告書」、「令和2年特用林産基礎資料」

注：「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

## 製材工場数

| 区分              | 奈良県    | 全国       | 全国順位 |
|-----------------|--------|----------|------|
| 工場数             | 143 工場 | 4,115 工場 | 6    |
| 製材用素材の入荷があった工場数 | 143 工場 | 4,067 工場 | 6    |
| 国産材のみ           | 132 工場 | 3,237 工場 | 4    |
| 国産材と輸入材         | 2 工場   | 653 工場   | 40   |

出典：「令和2年木材需給報告書」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 奈 良 県 の 漁 業

- ・内水面漁業経営体数は68経営体で全国第20位。
- ・水産物の生産状況は、内水面養殖業収穫量が13tで全国第38位。

## 漁業経営体数

| 区 分       | 奈 良 県  | 全 国       | 全国順位 |
|-----------|--------|-----------|------|
| 内水面漁業経営体数 | 68 経営体 | 4,772 経営体 | 20   |

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

## 水産物の生産状況

| 区 分          | 奈 良 県 | 全 国      | 全国順位 |
|--------------|-------|----------|------|
| 内水面漁業・養殖業生産量 | 13 t  | 50,832 t | 39 * |
| 内水面養殖業収穫量    | 13 t  | 29,087 t | 38 * |
| ます類その他(あまご)  | 11 t  | 2,026 t  | 22 * |

出典：「令和2年漁業・養殖業生産統計」

- 注：1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業・養殖業経営体の生産量である。  
 2 「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。  
 3 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事故の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

## 特定農業振興ゾーンの設置

○奈良県では、農地の有効活用と農業の生産性向上を図るため、平成30年度から**農業振興施策を集中的・優先的に推進する特定農業振興ゾーンの設置・拡大に取り組んでいます。**

○圃場整備  
(区画の大規模化)



スマート農業の導入支援で省力化推進

イチゴ栽培施設  
の環境制御



○機械・施設の整備等

農業生産性の向上

例：高収益作物への転換



例：イチゴのハウス栽培

(広陵町百済川向地区の例)

現在の担い手の耕作状況

将来の農地活用



現在の狭小な水田



ほ場整備により大区画化

整備後のイメージ

- ・新たな高収益作物（ナス）への転換
- ・集落営農の組織化
- ・ほ場整備（大区画化）

すでに設置した特定農業振興ゾーン

| 既設定地区      | 面積     | テーマ                        |
|------------|--------|----------------------------|
| 川西町下永東城地区  | 4.9ha  | イチゴ、結崎ネブカの振興               |
| 田原本町法貴寺地区  | 73.4ha | スイカ採種の規模拡大 イチゴ等の振興         |
| 〃 八田地区     | 55.0ha | ナス、トマト、軟弱野菜の規模拡大           |
| 広陵町寺戸地区    | 3.4ha  | イチゴ産地の復活 集落営農の組織化          |
| 〃 百済川向地区   | 21.8ha | ナスの産地復活 集落営農の組織化           |
| 五條市丹原地区    | 12.4ha | 法人と連携した青ネギの導入 集落営農の組織化、法人化 |
| 宇陀市伊那佐東部地区 | 51.5ha | 軟弱野菜、有機野菜、花き等の生産拡大         |